

三学期スタート

8日（火）より三学期がスタートしました。三学期始業式では、6年生3人が、今年の抱負や目標を発表してくれました。中学に向けて、学習面で準備をしていくこと、生活面ではできないところの見直しをすること等残り少ない小学校生活を大切に過ごしたい。1年生から5年生の先生方に「ありがとう」と言われるよう、1年生から5年生のお手本になるよう頑張りたい。1年間の目標として、中学に行って部活と勉強を両立させ、中学で新しい友達をつくりたい。といった発表をしてくれました。



また、校長先生は、三学期、よい締めくくりの学期にしましようにと話され、お正月にちなみ、「火正月」というお話をされました。このお話は豪華な食べ物や正月飾りなど無くても、暖かい“火”さえあれば、人をもてなすことができる。この暖かい火は人の心の暖かさのことだともいえる。私たちも友だちや周りの人に暖かい心で接することが大事だという話をされました。（裏面参照）

高学年スキー教室 10日

4・5・6年生は、10日に戸隠スキー場にスキー教室に行ってきました。天気予報では、大雪の予報でしたが、そんな大雪予報を吹き飛ばすように、全員元気に滑ることができました。みんな最後には、上達した滑りをみせることができ、小学校生活最後のスキー教室になる6年生も思い出に残る楽しいスキー教室になりました。



低学年スケート教室 15日

1・2・3年生は、15日Mウェーブにスケート教室に行ってきました。全員けがもなく元気に滑ることができました。3年生は、これが三回目でもう慣れたもの。始めからスイスイ滑ることができました。2年生は、去年の滑りを思い出しながら、だんだんと調子をあげ元気に滑ってきました。1年生は初めての子が多かったのですが、だんだんと氷上に慣れ、最後には、楽しく滑る姿がみられました。



来年度の運動会実施について

本校では、来年度の校庭運動会を6月1日（土）に実施したいと考えています。理由は次の通りです。ご理解のほどお願いいたします。

- ・今までの運動会は9月上旬から練習を始め、練習期間がとても残暑で日射病等子どもたちの健康に支障をきたす心配がある。9月中旬の当日も暑さが心配される。
- ・2学期に運動会・音楽会と行事が集中するため、2学期のゆとりがない。
1学期に過去音楽会を行った年もあったが、6年の合同音楽会との兼ね合いで、音楽会は2学期実施がよい。

- ・長野市の小学校 57校中今年度 5・6月に実施校23校(41%)あり、春開催の学校が多くなってきた。
- ・運動会を通して新しい学級学年のまとまりをつくることできる。
- ・6月上旬は比較的天気安定しており、穏やかな天候のもとで、練習でき、本番も暑くない気候の中で実施ができそう。

三学期始業式 校長先生のお話

2学期の終業式に、「部屋をきれいにし、心を静かにしてどんな1年間をすごそうか考えてみましょう」とお話ししました。本日、みんながそろって3学期が始められることを嬉しく思います。ただ今の発表では、テストを見直したい、忘れ物を無くすよう整理整頓に努めたい。自分の周りを整えたい、感謝の気持ちを持ちたい、部活動に熱心に取り組んで体を鍛えたい、友だちを多くしたい。などすばらしい目標を話してくれました。今年も頑張ろうという気持ちで1年間をスタートできたものと思います。48日学校にすれば、1年生は2年生に 2年生は3年生に と学年がひとつあがります。そして、6年生は卒業して中学生になります。1年間の最後をしっかりと過ごしましょう。そして、今年も豊野西小学校がいい学校であるよう、みなさんも協力をお願いします。

今日はお正月に関係した火正月というお話しをしましょう。

お正月を明日迎えるある日のこと、お金持ちのお家に旅のお坊さんがやってきました。

「もしも、私は旅の坊主だが、今晚止まる場所を探している。何とか、一晩泊めて下さいませんか。」とたのみました。金持ちの主人は、大変けちでした。「お前みたいな、貧乏で汚いやつに貸す部屋などない！」と追い払いました。

お坊さんは、今度はとなりのおんぼろ家に声をかけました。そこには貧しいけれど、大変に心優しいおじいさんとおばあさんが住んでおりました。「もしも、私は旅の坊主だが、今晚止まる場所を探している。何とか、一晩泊めて下さいませんか。」

「ああ、お坊様。うちは貧乏で、年越しの食べ物も1つありません。温かい薪しかありませんがどうぞ入れてください」いろりには赤々と火が燃えていました。「ああ、助かった。食べるものなら心配なさらくともよい。」お坊さんは、囲炉裏の前に腰掛けると、袋から何やら取り出して、お湯のわきたつなべへ入れました。しばらくすると鍋にはグツグツグツとおいしそうなぞうすいがなべいっぱい煮えていたのです。「お坊様、大変ありがとうございます。おかげさまでよい年越しができます。」おじいさんたちは久しぶりにいい年越しが出来ました。次の朝、お坊さんは出発の準備をしながら、「夕べは大変世話になった。御礼に何か欲しい物はないかな」と尋ねました。二人は、「滅相もございません。・・・ただ、出来るなら、若返りたいですね」と答えました。[それなら、元旦の朝に井戸の水を汲み、わかしてあびることじゃ]と言い、去っていきました。

二人がお坊さんに言われた通り、元旦に若水を汲み沸かして浴びると、不思議な事に十七、八才の若者に若返りました。「これで、また、元のように働くことができる」。若返った心の優しいおじいさんとおばあさんは、ずっと幸せに暮らしたという事です。

このお話は豪華な食べ物や正月飾りなど無くても、暖かい“火”さえあれば、人をもてなすことができるということでしたが、この暖かい火は 人の心の暖かさのことだともいえるのでしょう。私達も友だちや周りの人に暖かい心で接すると、みんなが幸せになるのですね。

今日は、3学期の始まりに当たって、火正月というお話しをしました。よい締めくくりの学期にしましょう。

